

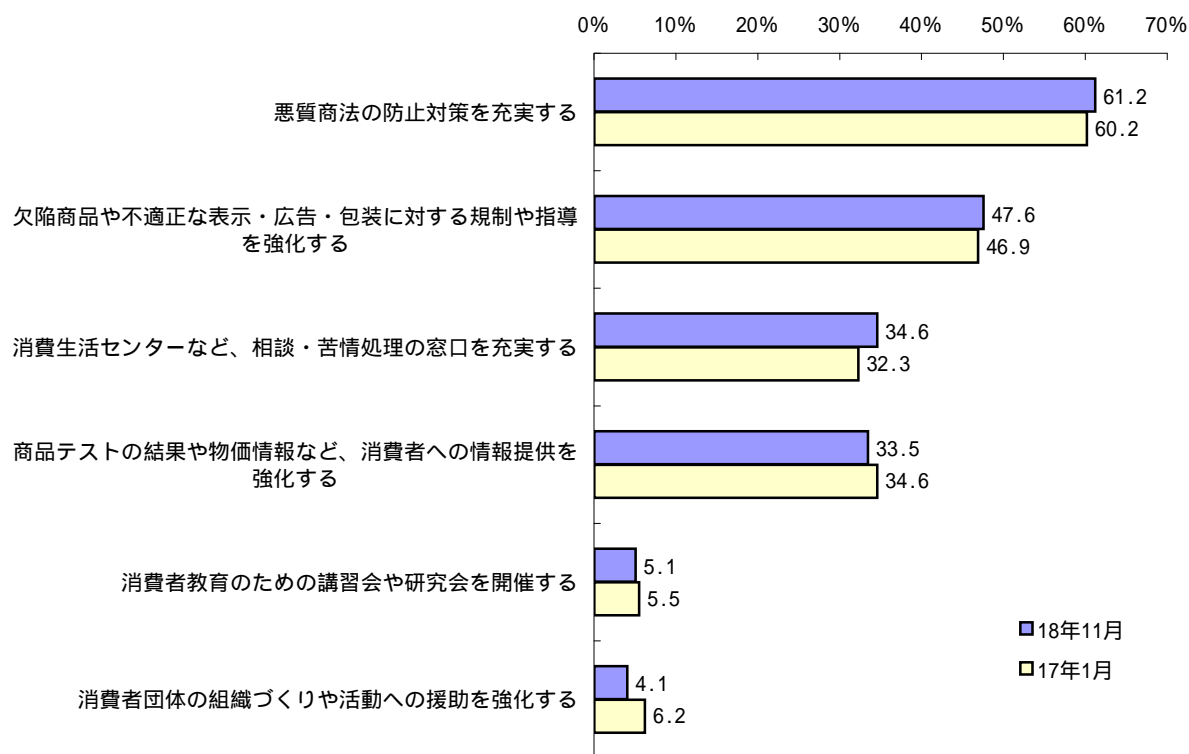
## 問1-1 物価・消費者保護対策

あなたは、物価・消費者保護対策として、県はどのようなことに特に力を入れたいと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を でかこんでください。

	(複数回答) (%)
1 消費生活センターなど、相談・苦情処理の窓口を充実する	34.6
2 商品テストの結果や物価情報など、消費者への情報提供を強化する	33.5
3 消費者教育のための講習会や研究会を開催する	5.1
4 消費者団体の組織づくりや活動への援助を強化する	4.1
5 欠陥商品や不適正な表示・広告・包装に対する規制や指導を強化する	47.6
6 悪質商法の防止対策を充実する	61.2
7 その他	0.3
8 わからない	2.5

物価・消費者保護対策として、県はどのようなことに特に力を入れたいと思うかを聞いたところ、「悪質商法の防止対策を充実する」と答えた人の割合が61.2%と最も多く、以下「欠陥商品や不適正な表示・広告・包装に対する規制や指導を強化する」(47.6%)、「消費生活センターなど、相談・苦情処理の窓口を充実する」(34.6%)、「商品テストの結果や物価情報など、消費者への情報提供を強化する」(33.5%)などの順となっている。

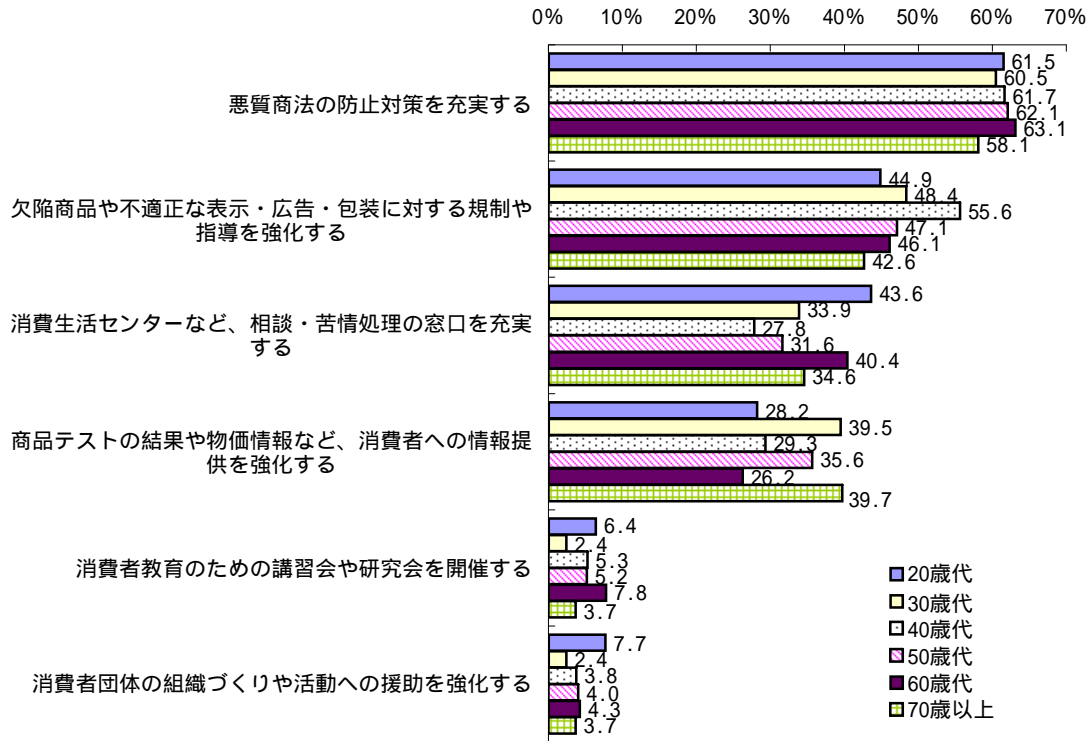
なお、前回調査と比較すると、「消費生活センターなど、相談・苦情処理の窓口を充実する」と答えた人の割合が2.3ポイント増加し、「消費者団体の組織づくりや活動への援助を強化する」は2.1ポイント、「商品テストの結果や物価情報など、消費者への情報提供を強化する」は1.1ポイント減少している。



### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「悪質商法の防止対策を充実する」と答えた人の割合が最も多くなっている。

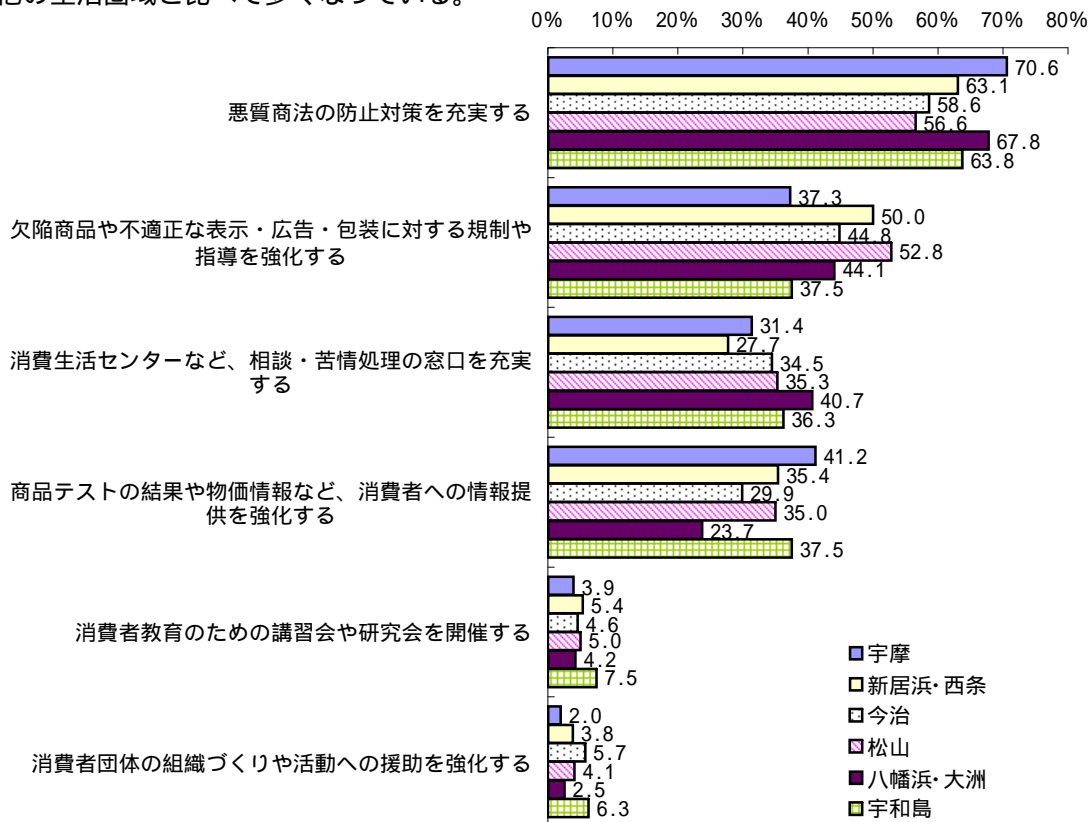
また、「欠陥商品や不適正な表示・広告・包装に対する規制や指導を強化する」と答えた人の割合は40歳代で、「消費生活センターなど、相談・苦情処理の窓口を充実する」は20歳代、60歳代で、「商品テストの結果や物価情報など、消費者への情報提供を強化する」は30歳代、70歳以上で、他の年齢層と比較して多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「悪質商法の防止対策を充実する」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「欠陥商品や不適正な表示・広告・包装に対する規制や指導を強化する」は新居浜・西条、松山圏域で、「消費生活センターなど、相談・苦情処理の窓口を充実する」と答えた人の割合は八幡浜・大洲圏域で、「商品テストの結果や物価情報など、消費者への情報提供を強化する」は宇摩圏域で、他の生活圏域と比べて多くなっている。



## 問12 学校教育対策

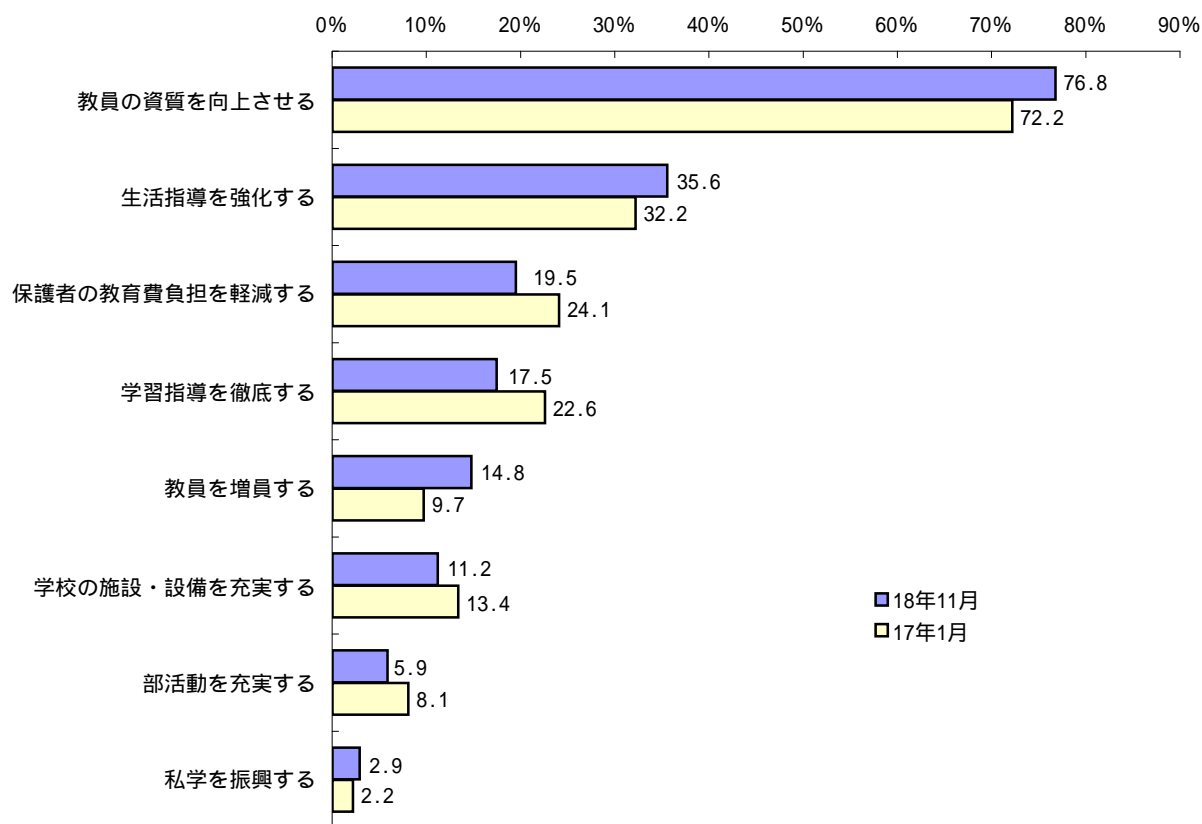
あなたは、学校教育をさらに充実させるためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を でかこんでください。

(複数回答) (%)

1	教員の資質を向上させる	76.8
2	教員を増員する	14.8
3	学習指導を徹底する	17.5
4	生活指導を強化する	35.6
5	部活動を充実する	5.9
6	学校の施設・設備を充実する	11.2
7	保護者の教育費負担を軽減する	19.5
8	私学を振興する	2.9
9	その他	3.7
10	わからない	2.8

学校教育をさらに充実させるためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思うかを聞いたところ、「教員の資質を向上させる」と答えた人の割合が76.8%と特に多く、以下「生活指導を強化する」(35.6%)、「保護者の教育費負担を軽減する」(19.5%)、「学習指導を徹底する」(17.5%)などの順となっている。

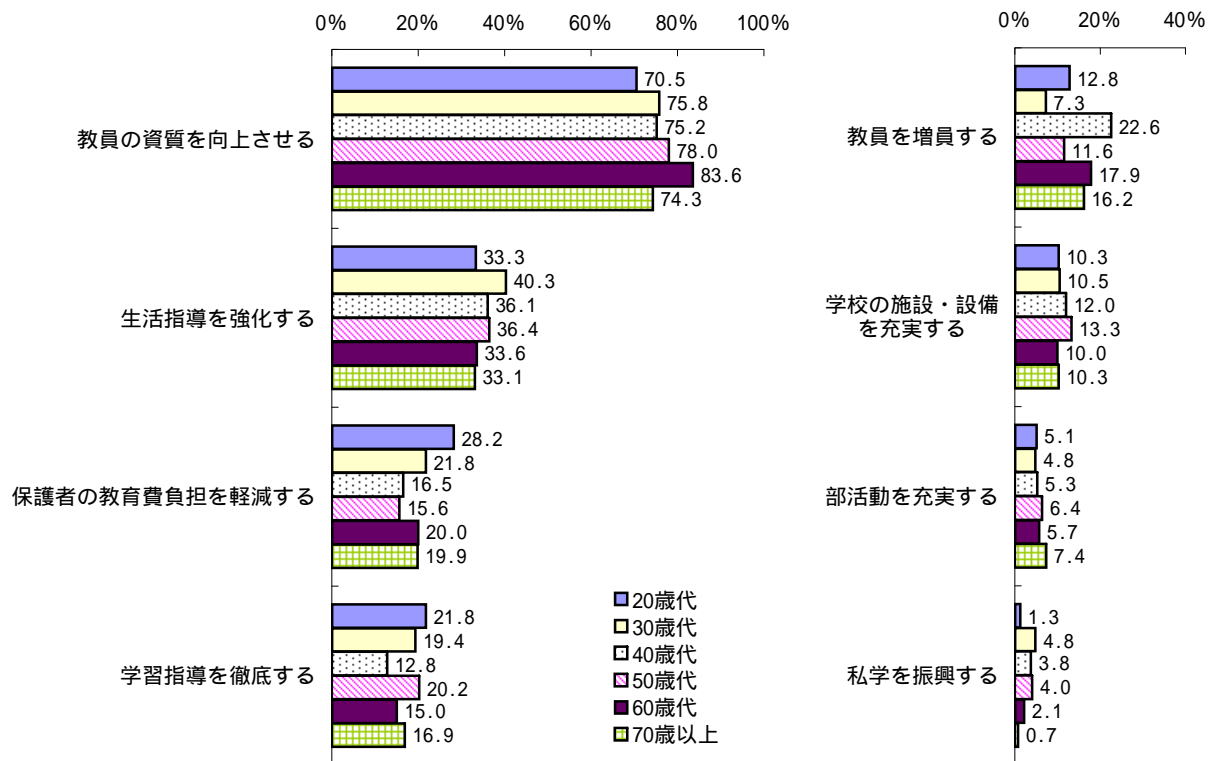
なお、前回調査と比較すると、「教員を増員する」と答えた人の割合は5.1ポイント、「教員の資質を向上させる」は4.6ポイント、「生活指導を強化する」は3.4ポイント増加し、「学習指導を徹底する」は5.1ポイント、「保護者の教育費負担を軽減する」は4.6ポイント減少している。



### 【年齢別】

年齢別にみると、いずれの年齢層においても「教員の資質を向上させる」と答えた人の割合が最も多く、60歳代(83.6%)で特に多くなっている。

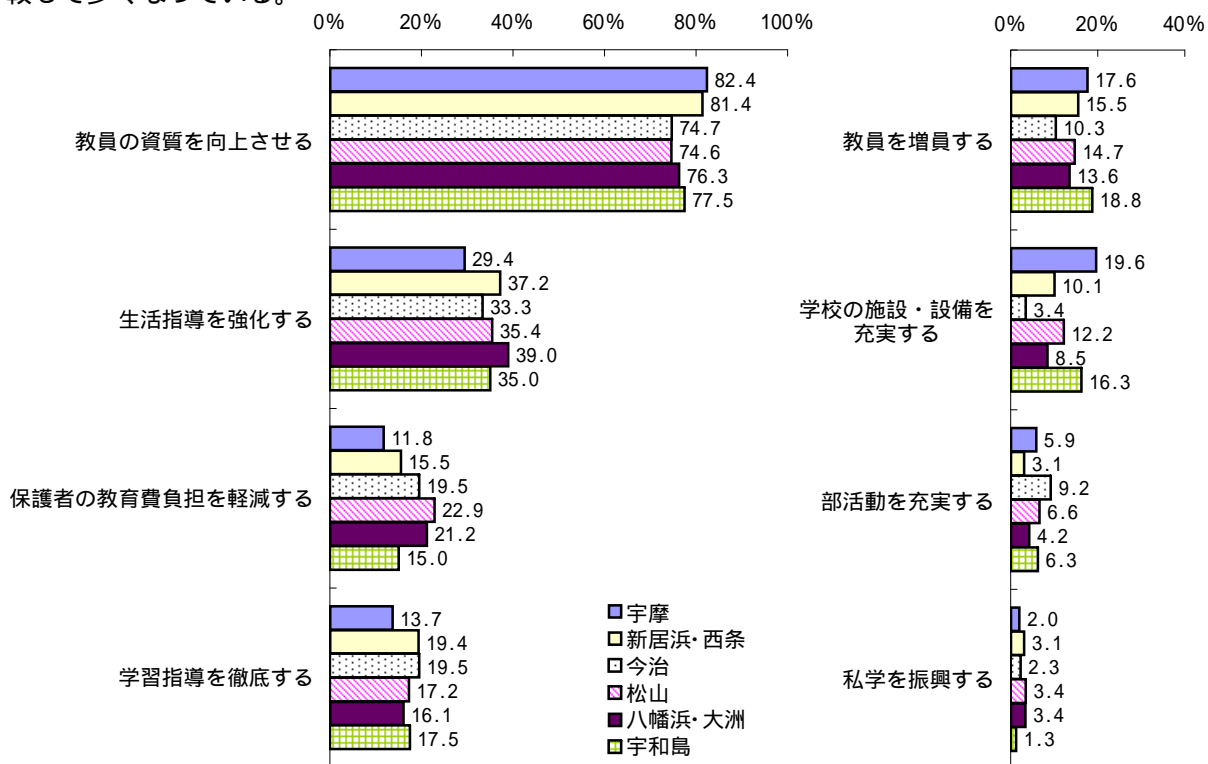
また、「生活指導を強化する」と答えた人の割合は30歳代で、「保護者の教育費負担を軽減する」及び「学習指導を徹底する」は20歳代で、他の年齢層と比べて多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、いずれの生活圏域においても「教員の資質を向上させる」と答えた人の割合が最も多くなっており、中でも宇摩圏域（82.4%）、新居浜・西条圏域（81.4%）で特に多くなっている。

また、「生活指導を強化する」と答えた人の割合は八幡浜・大洲圏域で、「保護者の教育費負担を軽減する」は松山圏域で、「学習指導を徹底する」は新居浜・西条、今治圏域で、他の生活圏域と比較して多くなっている。



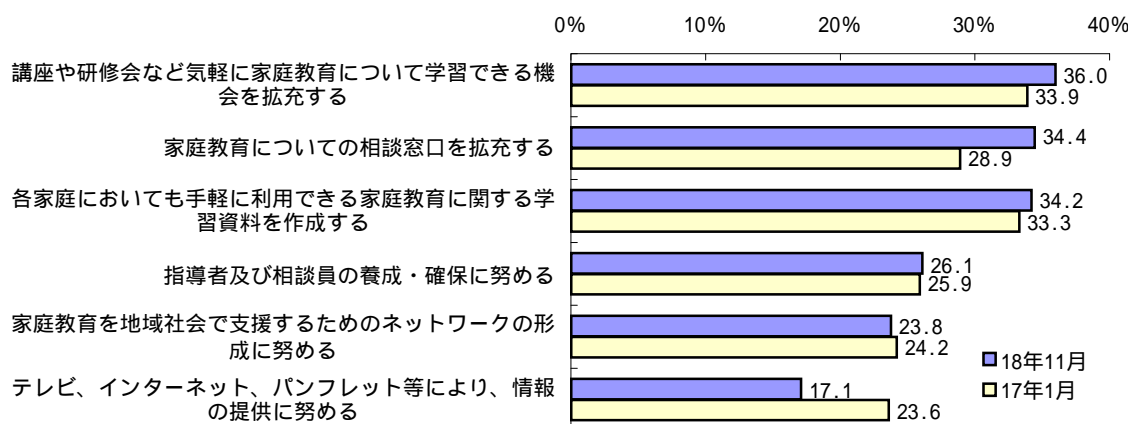
### 問13 家庭教育対策

あなたは、家庭の教育力の向上を図るためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を でかこんでください。

	(複数回答)	(%)
1 講座や研修会など気軽に家庭教育について学習できる機会を拡充する	36.0	36.0
2 学級、講座をはじめ、各家庭においても手軽に利用できる家庭教育に関する学習資料を作成する	34.2	34.2
3 家庭教育についての相談窓口を拡充する	34.4	34.4
4 指導者及び相談員の養成・確保に努める	26.1	26.1
5 テレビ放送、インターネット、パンフレット等により情報の提供に努める	17.1	17.1
6 家庭教育を地域社会で支援するためのネットワークの形成に努める	23.8	23.8
7 その他	2.3	2.3
8 わからない	8.1	8.1

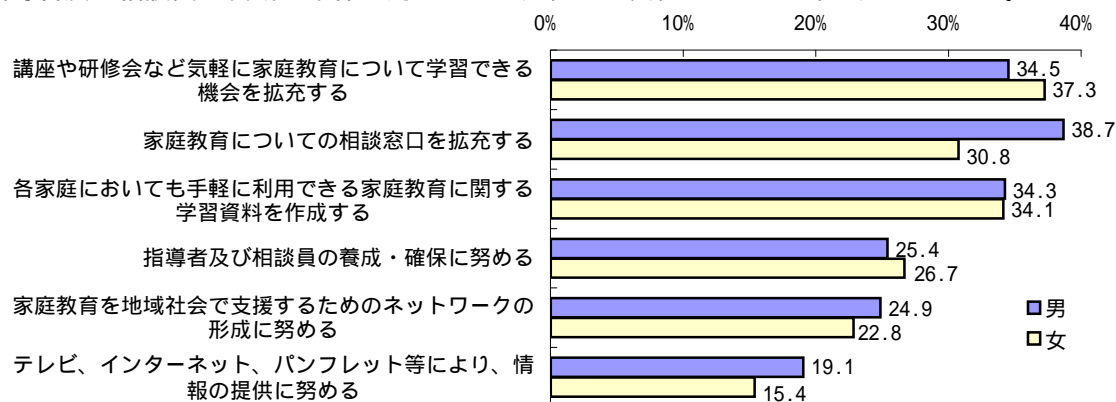
家庭の教育力の向上を図るためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思うかを聞いたところ、「講座や研修会など気軽に家庭教育について学習できる機会を拡充する」と答えた人の割合が36.0%と最も多く、以下「家庭教育についての相談窓口を拡充する」(34.4%)、「学級、講座をはじめ、各家庭においても手軽に利用できる家庭教育に関する学習資料を作成する」(34.2%)、「指導者及び相談員の養成・確保に努める」(26.1%)などの順となっている。

なお、前回調査と比較すると、「家庭教育についての相談窓口を拡充する」と答えた人の割合は5.5ポイント増加し、「テレビ放送、インターネット、パンフレット等により情報の提供に努める」は6.5ポイント減少している。



#### 【性別】

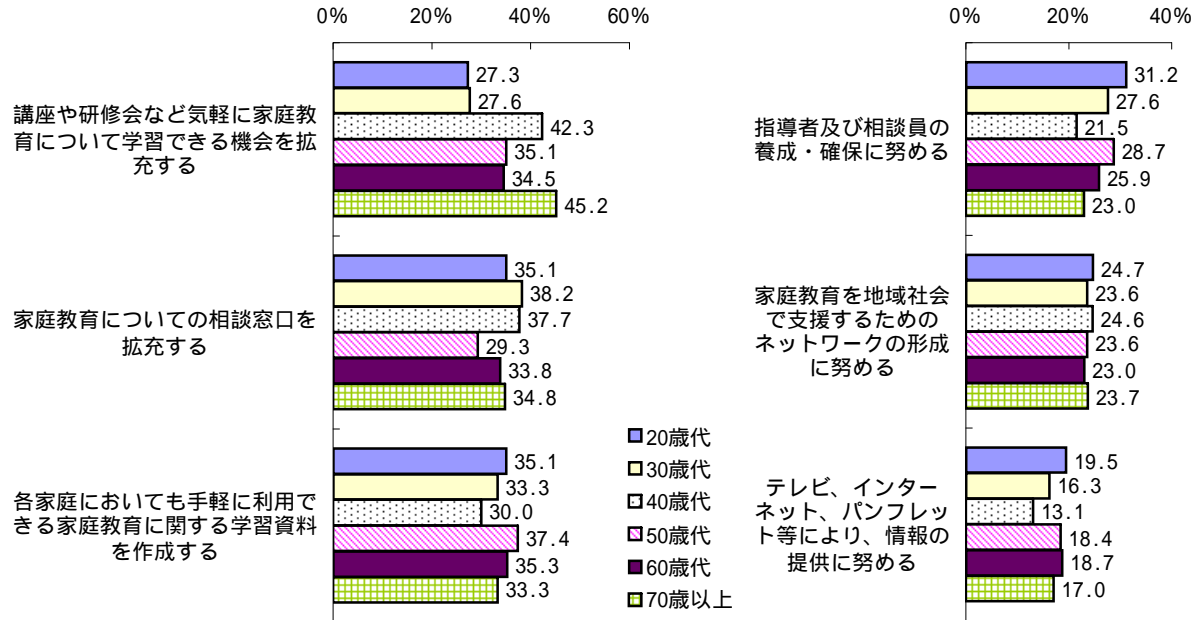
性別にみると、男性は「家庭教育についての相談窓口を拡充する」と答えた人の割合が、女性は「講座や研修会など気軽に家庭教育について学習できる機会を拡充する」が最も多くなっている。また、「各家庭においても手軽に利用できる家庭教育に関する学習資料を作成する」、「家庭教育を地域社会で支援するためのネットワークの形成に努める」と答えた人の割合は女性より男性で、「指導者及び相談員の養成・確保に努める」は男性より女性でそれぞれ多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、40歳代、70歳以上では「講座や研修会など気軽に家庭教育について学習できる機会を拡充する」と答えた人の割合が、50歳代、60歳代では「各家庭においても手軽に利用できる家庭教育に関する学習資料を作成する」が、30歳代では「家庭教育についての相談窓口を拡充する」が最も多く、20歳代では後者2項目が同率で最も多くなっている。

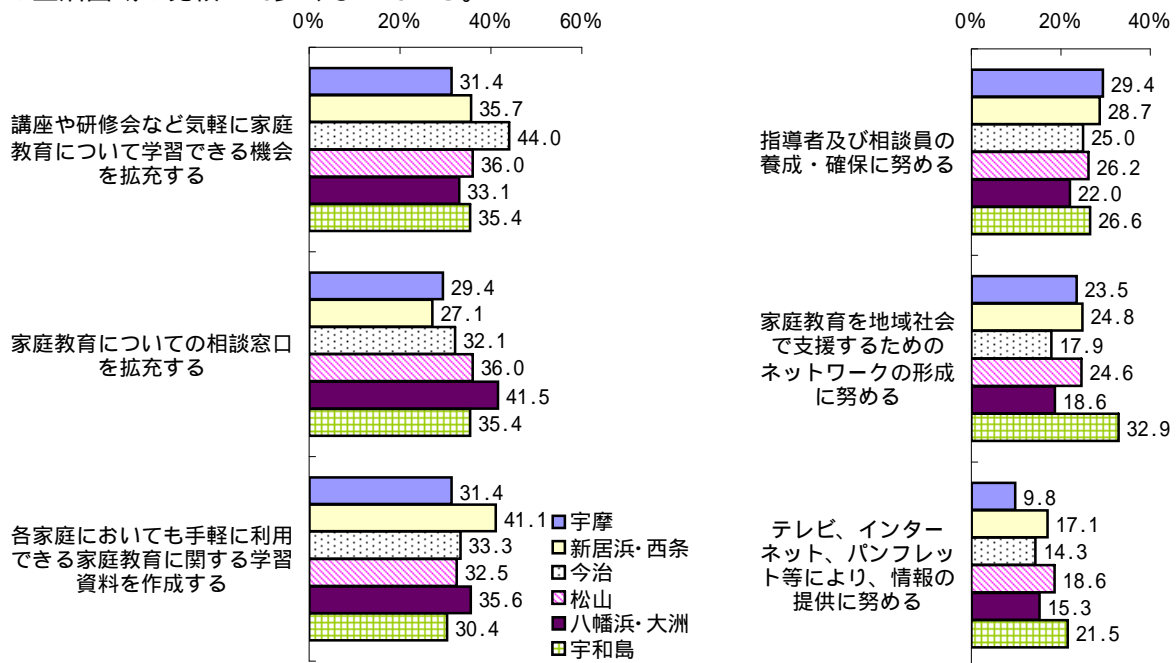
また、「講座や研修会など気軽に家庭教育について学習できる機会を拡充する」と答えた人の割合は70歳以上（45.2%）で特に多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、新居浜・西条圏域では「各家庭においても手軽に利用できる家庭教育に関する学習資料を作成する」と答えた人の割合が、今治圏域では「講座や研修会など気軽に家庭教育について学習できる機会を拡充する」が、八幡浜・大洲圏域では「家庭教育についての相談窓口を拡充する」が最も多くなっており、松山、宇和島圏域では後者2項目が同率で、宇摩圏域では前者2項目が同率で最も多くなっている。

また、「家庭教育についての相談窓口を拡充する」と答えた人の割合は八幡浜・大洲圏域で、「各家庭においても手軽に利用できる家庭教育に関する学習資料を作成する」は新居浜・西条圏域で、他の生活圏域と比較して多くなっている。

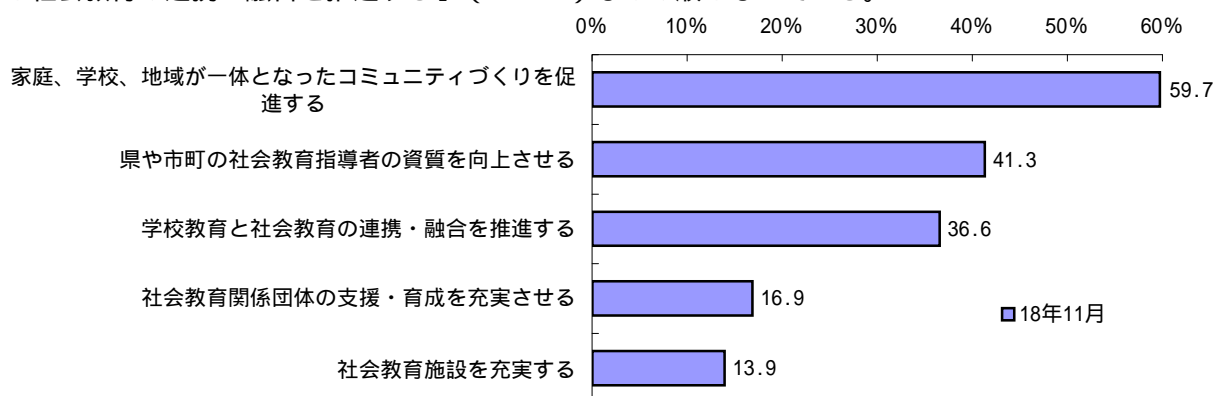


### 問14 社会教育対策（新規調査課題）

あなたは、公民館活動や各種団体が行う地域づくり・人づくり活動などの社会教育をさらに充実するためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を でかこんでください。

	(複数回答)	(%)
1 社会教育関係団体の支援・育成を充実させる		16.9
2 県や市町の社会教育指導者の資質を向上させる		41.3
3 学校教育と社会教育の連携・融合を推進する		36.6
4 家庭、学校、地域が一体となったコミュニティづくりを促進する		59.7
5 社会教育施設を充実する		13.9
6 その他		1.2
7 わからない		9.2

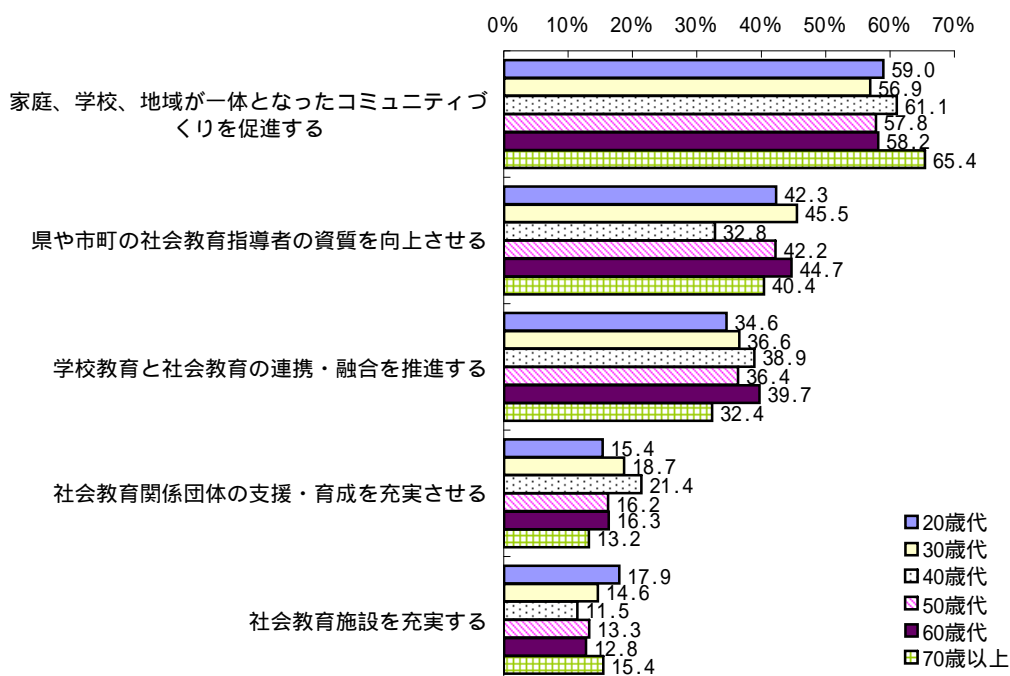
社会教育をさらに充実するためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思うかを聞いたところ、「家庭、学校、地域が一体となったコミュニティづくりを促進する」と答えた人の割合が59.7%と最も多く、以下「県や市町の社会教育指導者の資質を向上させる」（41.3%）、「学校教育と社会教育の連携・融合を推進する」（36.6%）などの順となっている。



#### 【年齢別】

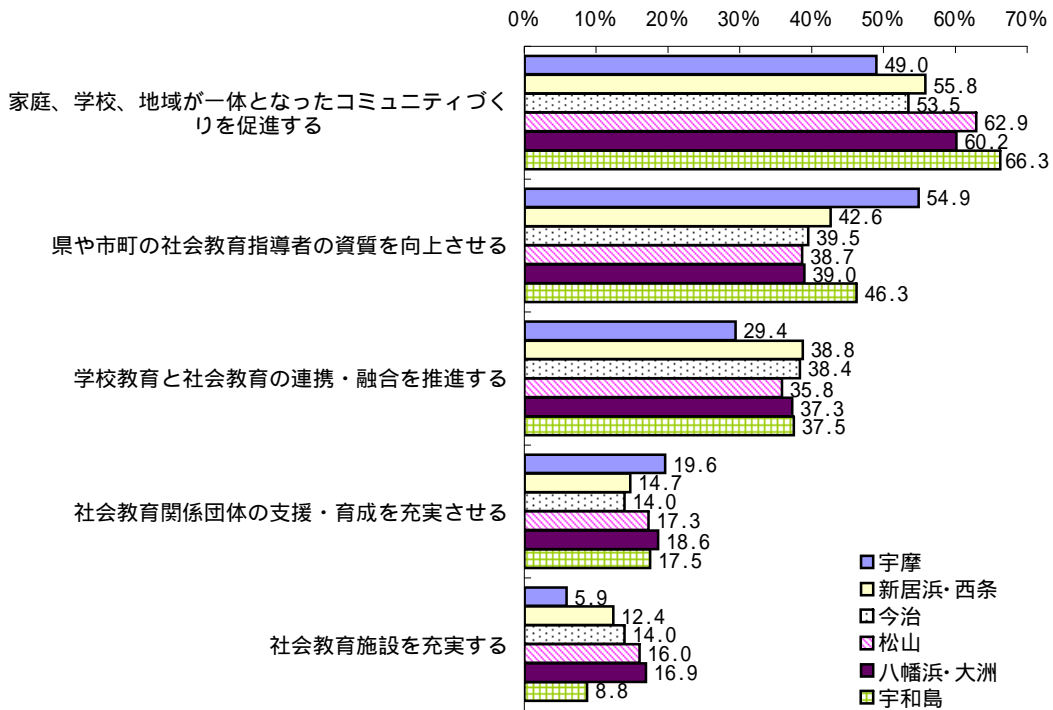
年齢別にみると、全ての年齢層で「家庭、学校、地域が一体となったコミュニティづくりを促進する」と答えた人の割合が最も多くなっており、70歳以上では65.4%と特に多い。

なお、「県や市町の社会教育指導者の資質を向上させる」と答えた人の割合は30歳代で、「学校教育と社会教育の連携・融合を推進する」は60歳代で、他の年齢層と比較して多くなっている。



### 【生活圏域別】

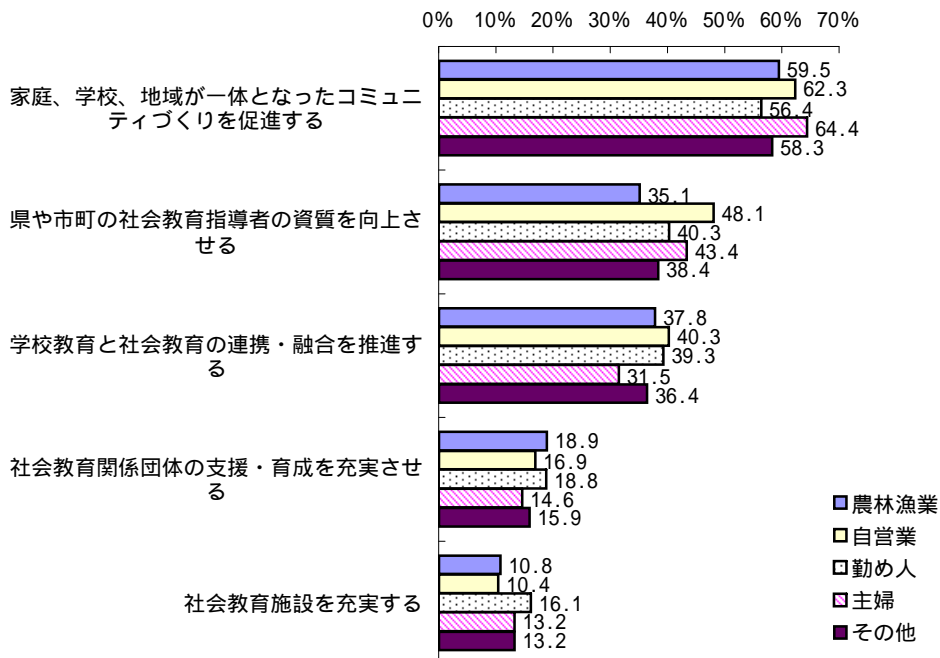
生活圏域別にみると、宇摩圏域を除く全ての圏域で「家庭、学校、地域が一体となったコミュニティづくりを促進する」と答えた人の割合が、宇摩圏域では「県や市町の社会教育指導者の資質を向上させる」が最も多くなっている。



### 【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「家庭、学校、地域が一体となったコミュニティづくりを促進する」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「県や市町の社会教育指導者の資質を向上させる」及び「学校教育と社会教育の連携・融合を推進する」と答えた人の割合は、いずれも自営業で多くなっている。





問15 生涯学習対策

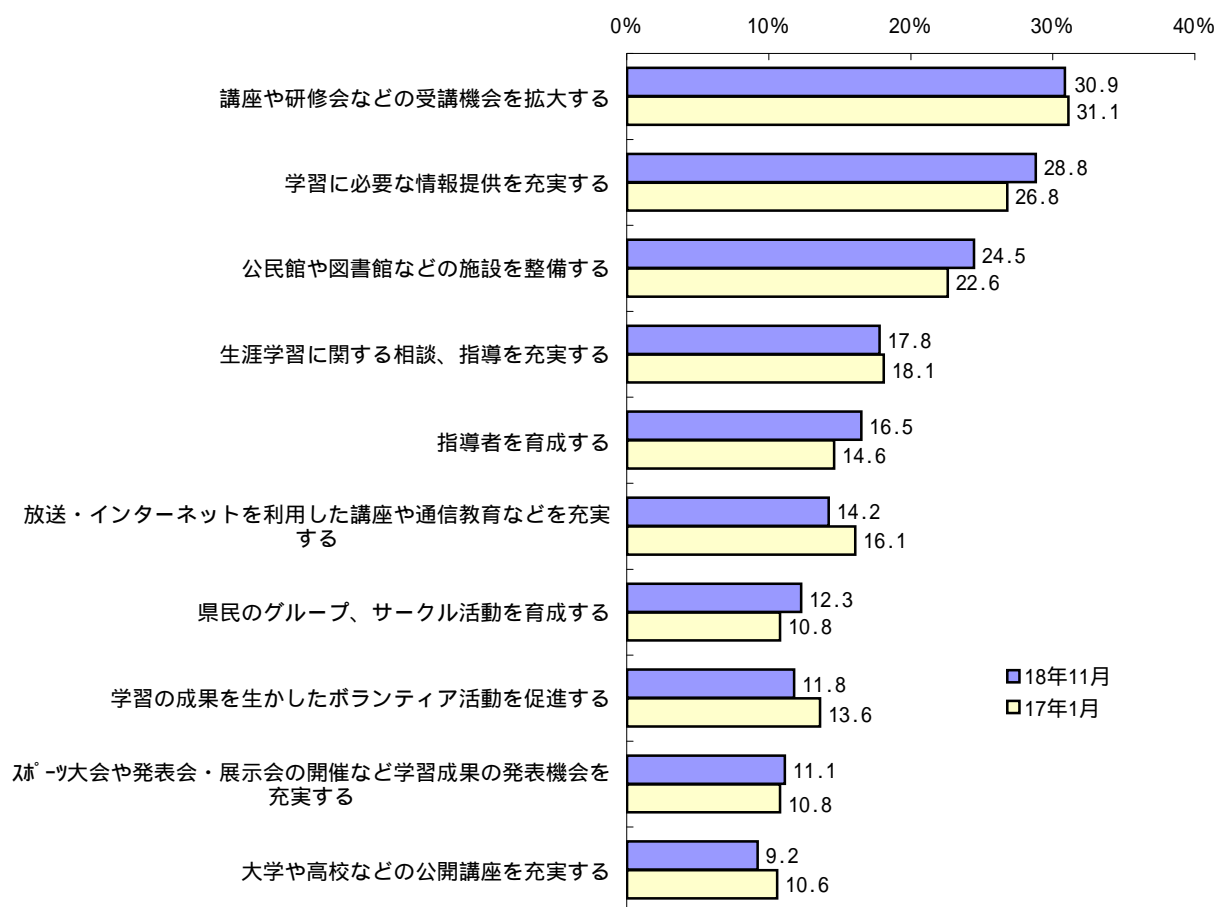
あなたは、生涯学習をさらに充実するためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を でかこんでください。

(複数回答) (%)

1	講座や研修会などの受講機会を拡大する	30.9
2	放送・インターネットを利用した講座や通信教育などを充実する	14.2
3	大学や高校などの公開講座を充実する	9.2
4	公民館や図書館などの施設を整備する	24.5
5	県民のグループ、サークル活動を育成する	12.3
6	生涯学習に関する相談、指導を充実する	17.8
7	指導者を育成する	16.5
8	学習に必要な情報提供を充実する	28.8
9	学習の成果を生かしたボランティア活動を促進する	11.8
10	スポーツ大会や発表会・展示会の開催など学習成果の発表機会を充実する	11.1
11	その他	0.9
12	わからない	6.8

生涯学習をさらに充実するためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思うかを聞いたところ、「講座や研修会などの受講機会を拡大する」と答えた人の割合が30.9%と最も多く、以下「学習に必要な情報提供を充実する」(28.8%)、「公民館や図書館などの施設を整備する」(24.5%)、「生涯学習に関する相談、指導を充実する」(17.8%)、「指導者を養成する」(16.5%)などの順となっている。

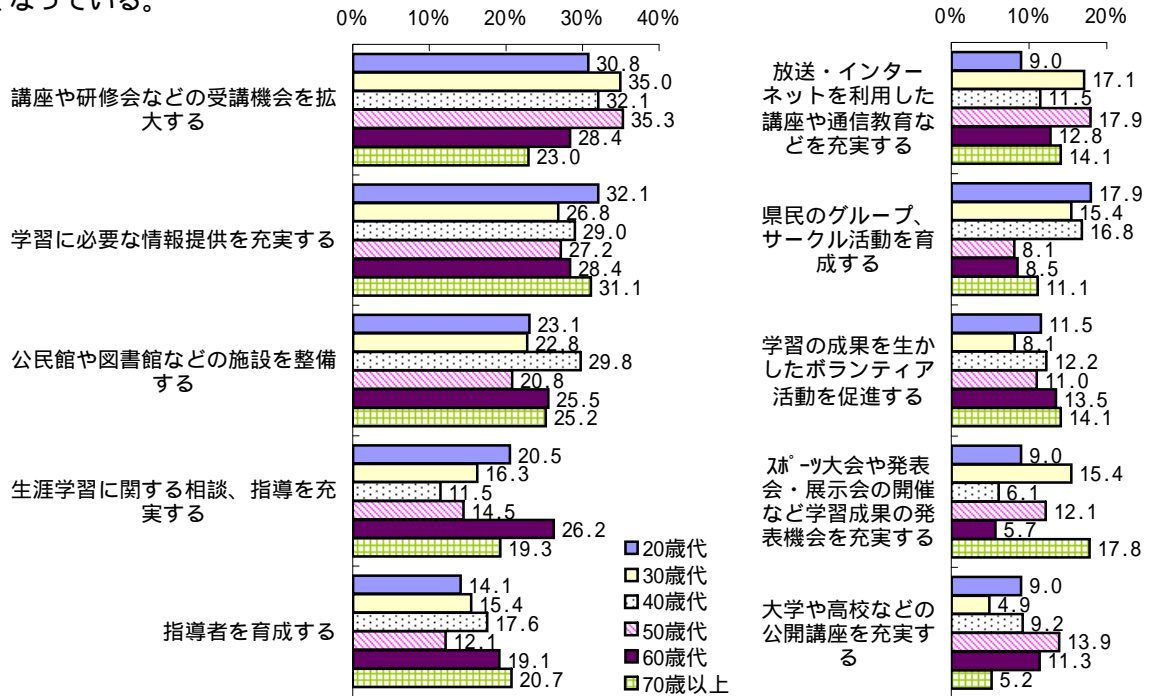
なお、前回調査と比較すると、「学習に必要な情報提供を充実する」と答えた人の割合は2.0ポイント、「公民館や図書館などの施設を整備する」「指導者を養成する」はそれぞれ1.9ポイント増加している。



### 【年齢別】

年齢別にみると、30歳代～50歳代では「講座や研修会などの受講機会を拡大する」と答えた人の割合が、20歳代、70歳以上では「学習に必要な情報提供を充実する」が最も多く、60歳代ではこの2項目が同率で最も多くなっている。

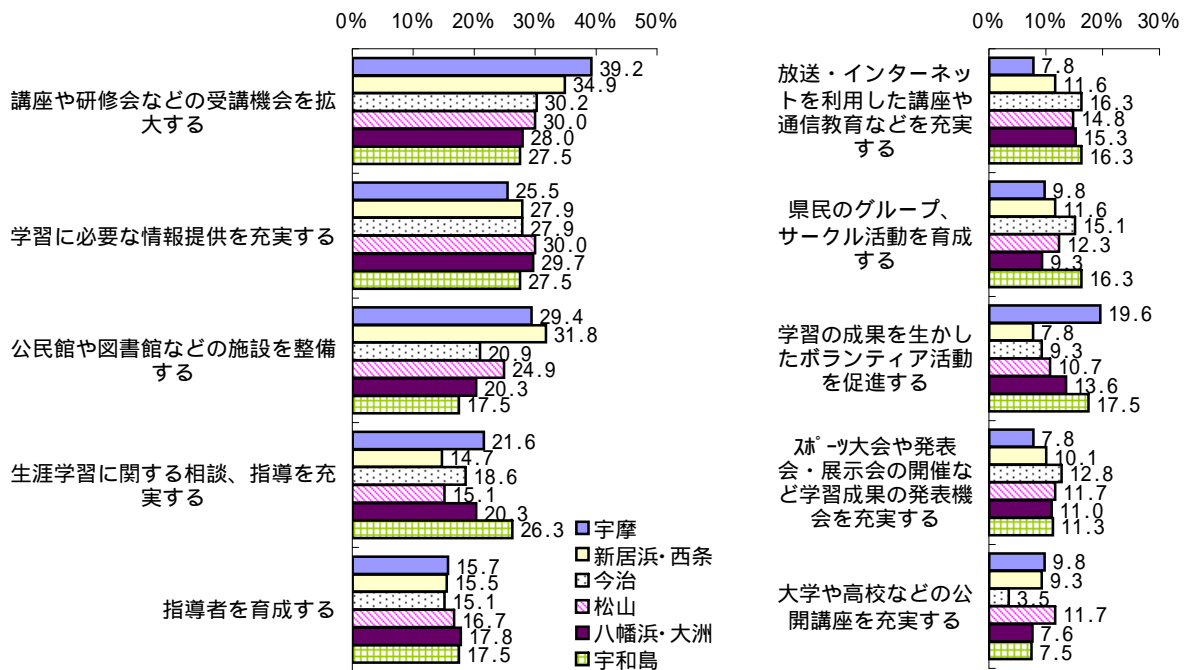
なお、「公民館や図書館などの施設を整備する」と答えた人の割合は40歳代で、「生涯学習に関する相談、指導を充実する」は60歳代で、「指導者を育成する」は70歳以上で、他の年齢層と比較して多くなっている。



### 【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩、新居浜・西条、今治圏域では「講座や研修会などの受講機会を拡大する」と答えた人の割合が、八幡浜・大洲圏域では「学習に必要な情報提供を充実する」が、松山、宇和島圏域ではこの2項目が同率で最も多くなっている。

また、「公民館や図書館などの施設を整備する」と答えた人の割合は新居浜・西条圏域で、「生涯学習に関する相談、指導を充実する」は宇和島圏域で、他の生活圏域と比較して多くなっている。



## 【職業別】

職業別にみると、自営業、勤め人、主婦では「講座や研修会などの受講機会を拡大する」と答えた人の割合が、農林漁業、その他では「学習に必要な情報提供を充実する」が最も多くなっている。

また、「公民館や図書館などの施設を整備する」、「指導者を育成する」と答えた人の割合は自営業で、「生涯学習に関する相談、指導を充実する」はその他で、他の職業と比較して多くなっている。

